

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	電装構造		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期 ・ 火曜日 ・ 1・2時限あるいは3・4時限		
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	川向 芳子（副：野尻 裕朗）		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組み立てなど自動車整備士としての経験を活かし、整備をする上で必要となる電装品の基礎知識について講義する。		
授業の目的	自動車に装着されている電装品の構造・機能及びそれらの装置の作動について講義する。		
テキスト	① 基礎自動車工学（日本自動車整備振興会連合会 発行） ② 三級自動車ガソリン・エンジン（日本自動車整備振興会連合会 発行） ③ 三級自動車シャシ（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	オームの法則（直列接続回路）	直列接続回路の合成抵抗と流れる電流を求める。	①p.79～85
第2回	オームの法則（並列接続回路）	分数の足し算の練習と並列接続回路の合成抵抗を求める。	①p.79～85
第3回	オームの法則（並列接続回路）	並列接続回路に流れる電流を求める。	①p.79～85
第4回	オームの法則（直並列接続回路）	直並列接続回路に流れる電流を求める。	①p.79～85
第5回	オームの法則（直並列接続回路）	並列接続回路の応用問題を実施。	①p.79～85
第6回	バッテリー 概要、構造、機能	バッテリーの概要や構造、部品の名称および機能の理解。	②p.86～92
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	バッテリー 概要、構造	バッテリーの概要や構造、部品の名称の理解。	②p.86～92
第8回	バッテリー 機能、整備	バッテリーの機能、整備の理解。	②p.86～92
第9回	始動装置 概要、構造、機能	始動装置の概要、構造、部品の名称および機能の理解。	②p.93～99

第 10 回	始動装置 マグネットスイッチ	始動装置のマグネットスイッチの部品の名称および機能の理解。	②p.93～99
第 11 回	充電装置 概要、構造、機能	充電装置の概要、構造、部品の名称および機能の理解。	②p.101～106
第 12 回	点火装置 概要、構造、機能	点火装置の概要、構造、機能の理解。	②p.108～112
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	三級自動車の教科書を基とした、各電気装置の構造・機能、回路図の読み取り、計器類の概要、ヒューズやリレーなどについて修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">中間試験の点数 30%</p> <p style="margin-left: 40px;">期末試験の点数 40%</p> <p style="margin-left: 40px;">平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="margin-left: 40px;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		